

四阿山山行報告

【山行日】2021年8月6日(金) 快晴

【集合】岩舟支所P AM 4:00

【費用】マイカー1台 : 4,400円

【メンバー】CL:鈴木、SL:石澤 安西、嶋田、
並木、廣瀬

【コースタイム】岩舟支所P4:00＝菅平牧場P
6:20/6:40～根子岳 8:40/8:50～大隙間 9:20～
四阿山 10:30/10:50～鞍部 11:30/12:05～
中四阿山 12:15～菅平牧場P14:00/14:20＝
道の駅「ゆきむら夢工房」14:50/15:10＝
岩舟支所P16:45



今週は燕岳～常念岳へ縦走する予定だったが、台風10号・9号が通過し山は大荒れの予報の為中止にした。6日は晴天の予報なので、代替山行として根子岳～四阿山の周遊コースを計画した。4時に岩舟支所を出発し、北関東道から上信越道を走り菅平牧場に向かう。菅平牧場に着くと駐車場には4台しか車が無く、登山口に一番近い場所に止めることが出来た。準備が出来たら登山口まで移動し、トイレを済ませたらストレッチを行って出発する。登山ポストに山行計画書を投函し、広い登山道を根子岳に向かって登って行く。登山道の両側にはハクサンフウロやミヤマアキノキリンソウ、マツムシソウ等の花が咲き、さすが花の百名山だと思った。しばらく登って振り返って見て驚いた、北アルプスの山々がくっきりと見えるではないか。少し上の東屋に着き休憩したが、ここからは北アルプスの白馬岳から乗鞍岳まですべてははっきりと見渡せる。皆さんも大興奮で「どの山が何の山？」と聞いてくる。真夏のこの時季に、これだけははっきりと見えるのは、我輩も初めての経験である。じっくり山座同定し、カメラやスマホに収めたら出発する。灌木帯からダケカンバの純林を過ぎると森林限界を超え、見晴らしが良くなって北アルプスがさらに良く見える。最後はガレ場の急登を登るが、お花畑や北アルプスの展望に励まされ根子岳山頂に着く。一等三角点がある山頂からは圧巻の大パノラマで、皆さん楽しそうに展望を満喫していた。リンゴや菓子を食べながら、しばらく眺望を楽しんだ。ここから東に聳える四阿山に向かうが、初めは岩場の下りでその先は巨岩の北側を巻くように降りて行く。



途中、巨岩の上に登って展望を楽しみ、下から記念写真を撮る。下り切った鞍部が十ガ原で、笹原が広がっている。振り返ると笹と岩が織りなす根子岳がとても美しい。ここからはシラビソの樹林帯



に変わり、四阿山へのきつい急登にかかる。一步一步ゆっくりと登り、途中の少し平らな場所で立ち休みして呼吸を整える。皆さん会話も途切れ、ここは頑張るしかできない。やがて傾斜が緩くなり眼前が開けると尾根に飛び出す。平らな場所で休憩し、饅頭を食べ水分を補給する。平坦な道を進むと四阿山への分岐に出て、左に尾根を登って行く。木の階段を登り、右からの的岩からの道を合わせるとまもなく四阿山山頂に着く。山頂には祠が建ち、四阿山の山頂標識が立っ

ている。奥の尾根に置かれている三角点まで行き、山頂に戻ってご褒美のプリンをいただいた。

ここから分岐まで来た道に戻り、分岐を直進して中四阿山へ向かう。岩がゴロゴロした歩きにくい道を下り、中四阿山手前の鞍部でランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。陽射しが暑いですが風が有るので涼しく、それぞれ場所を確保し離れていただいた。

ここからほんの少し登ると中四阿山で、山頂に登って眺望を楽しむ。今日は午後になっても視界が良く、北アルプスの山がまだ楽しめた。見晴が良い尾根歩きを楽しみ、四阿高原への道を左に分け右に菅平牧場を目指し下って行く。



マツムシソウやキンレイカ等が咲く道をどんどん下り、沢を渡って登り返すと赤い屋根の牛舎が見え、菅平牧場への舗装道に出る。舗装道を右に進み、ゆるやかに登って緩やかに下ると登山口に到着。トイレを済ませたら道路反対側の売店に行き、ソフトクリームや牛乳を購入し休憩所でいただく。皆さんソフトクリームを美味しそうに食べ、牛乳が美味しいと聞いてまた牛乳を飲んでいました。食べ終わったら駐車場に戻り、靴を履き替えた後帰路につく。途中、桃



が買いたいというので道の駅「ゆきむら夢工房」に寄り、桃やネクタリン、トマトなどを買い岩舟支所に向かった。車の中でAさんが購入したネクタリンを試食し、とても美味しいと止まらなくなり全部食べていた。上信越道から北関東道と順調に走り、予定より少し早く岩舟支所に到着出来た。